

平成28年12月16日

会員各位

美しい多摩川フォーラム事務局

平成28年度 第1回 三部会合同部会

◆ 12月16日(金)、美しい多摩川フォーラムの平成28年度 第1回 三部会合同部会が開催されました。概要は下記のとおりです。

- ・開催日時：平成28年12月16日(金) 15時～16時半
- ・開催場所：立川グランドホテル 3F サンマルコ
- ・出席者：副会長、部会長、副部会長、運営委員、アドバイザー、会員等

◎ 三部会合同部会の概要

1. 開会
2. 部会長挨拶
3. 経過報告 ※はビデオ放映
 - (1) 第9回・多摩川一斉水質調査レポート完成(11/1)【資料1】※
 - (2) 平成28年度・第1回運営委員会開催(11/2)【資料2】
 - (3) 大田区より第9回・寄付金の贈呈(11/11)【資料3】
 - (4) 多摩川“水”大学講座開催(全6回・11/11最終回)
 - (5) 第8回・美しい多摩川クリーンキャンペーン開催
(11/12、11/19雨天中止、11/26)【資料4】
 - (6) 第3回・美しい多摩川フォト教室開催(11/25)【資料5】
 - (7) 第9回・多摩川子ども環境シンポジウム開催(12/10)【資料6】
 - (8) 多摩川流域11自治体交流イベントラリーに協力(5/28～11/13)【資料7】
4. 意見交換
 - (1) 平成29年度事業計画骨子(事務方素案)の主な実施内容について【資料8】
(10周年記念事業案件の実施に向けて)
 - (2) その他
5. 部会長総括
6. 閉会

1. 開会（初参加者紹介および資料確認）

（事務局）

定刻になりましたので、美しい多摩川フォーラム平成28年度第1回三部会合同部会を始めさせて頂きたいと思います。始めに当フォーラムのテーマソングである「多摩川の歌」の普及策の一環として、本日は、小野リサさんによるボサノバ・バージョンでお聞き下さい……。本日はじめて部会にご出席される方をご紹介します。

（大田区 環境清掃部 環境計画課 環境計画担当係長 篠木 伸司 様）

篠木と申します。昨年1度参加させて頂きましたが、部署が変わりましたので改めてご挨拶させていただきます。10月に開催された「たまりバー50キロ命名記念 Run&Walk」は、大田区から出発していただき、有り難うございました。今後も皆さんと力を合わせながら取り組みを続けていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

（狛江市 企画財政部 政策室 企画調整担当副主幹 浅井 信治 様）

浅井と申します。企画財政部政策室に異動して3年目になりますが、会議に出席するのは初めてです。後ほど担当からご説明させていただきますが、多摩川流域11自治体のイベントをスタンプラリーで繋ぐ事業を行っております。今後とも、多摩川の発展や環境を守る事業として取り組みを続けていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

（西東京バス株式会社 営業部 営業担当課長補佐 田辺 健治 様）

田辺と申します。我々は多摩川から奥多摩湖に沿って路線バス、貸切バスを運行しており、多摩川とは切っても切れない間柄だと思っておりますので、今後ともよろしく願いいたします。

（秋川漁業協同組合 代表理事組合長 安永 勝昭 様）

安永と申します。多摩川を愛するメンバーが出席する会議に参加できますことを御礼申し上げます。私どもは、川を愛し、川に棲む魚を中心に取り組んでおります。今年9月に全国の56河川の仲間と会い、多摩川のことを聞いたら誰も知りませんでした。知っている人でも、「多摩川は汚い川だ」というイメージを持っています。そのイメージを払しょくすべく、江戸前アユを復活させる挑戦をしています。今年は準グランプリを取り、全国に江戸前アユが行きわたりました。今日の午前中は、テレビ番組「ダッシュ村」の作業をしていました。多摩川シリーズが続いており、その協力をしております。番組を通じて、多摩川がきれいであ

ることをPRしたいと思っています。1月22日（日）には、番組内で多摩川と秋川が出ますので見て下さい。今後ともよろしく願いいたします。

(一般社団法人青梅市観光協会 会長 小澤 徳郎 様)

小澤と申します。青梅市は観光資源が豊かです。特に御岳溪谷は、多摩川上流の中でも美しい景観であり、日本の名水100選にも選ばれています。青梅市観光協会では、河川の清掃活動や、桜やツツジ等の苗木の植栽をやっています。また、遊歩道のトイレ改装も行いました。これから更に努力して、多くの観光客に来ていただけるよう整備していきたいと思っています。今後ともよろしく願いいたします。

(狛江市 市議会議員 太田 久美子 様)

狛江市から参りました太田と申します。多摩川フォーラムさんとの出会いは、「多摩川いかだレース」でした。私は市議会議員として、狛江市の多摩川だけを見てイベントに参加して参りましたが、多摩川フォーラムさんと出会って、多摩川は長いのだと改めて気付かされました。また、私は大学院時代、細野会長の教え子であり、色々なご縁もあって、本日出席させていただきました。今日は色々勉強させていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

(事務局)

有り難うございました。なお、本日は、細野会長、薮田部会長が出張により欠席となりましたほか、本日急きょですが、平野部会長と及川事務局長が病気でダウンして欠席になりました。また、小倉副会長が若干遅れるとのご連絡をいただいております。その関係で、本日の進行は、わたくし、宮坂が担当いたします。どうぞよろしくお願い申し上げます。

それでは、急なことで申し訳ありませんが、渡邊環境清流部会長より開会のご挨拶をよろしくお願い致します。

2. 部会長挨拶

(渡邊部会長)

こんにちは。今日は、お忙しい中をお集まりいただき、誠に有り難うございます。今年は内外とも激動の1年でした。そんな中、多摩川フォーラムで計画された事業はほとんど実行され、良かったと思います。つい先日は、「第9回多摩川子ども環境シンポジウム」に参加しました。多分野に関して、子どもたち10組が発表しました。子どもにしては良く調べているなと思いました。子どもの頃から多摩川に関心があれば、将来も多摩川に関心のある大人になりますので、大変良

い企画であると思います。来年も同じ時期に開催しますので、皆さんのお近くの小中学校にお話いただき、積極的に参加していただきたいと思います。それでは、事務局に進行をお願いします。

3. 経過報告

(事務局)

- ・ それでは、経過報告に移ります。11月の活動部会以降の当フォーラムの活動につきましては、お手元の資料の表紙に時系列でお示ししております。まず(1)番の「多摩川一斉水質調査」をビデオにまとめておりますので、前方のスクリーンをご覧ください。

— ビデオ放映 —

経過報告を続けます。

(1) 第9回・多摩川一斉水質調査レポート完成(11/1)【資料1】※

(事務局)

- ・ 【資料1】をご覧ください。只今ビデオでご覧いただいたとおり、6月5日に実施された多摩川一斉水質調査の最終結果報告書がまとまりましたので、本件につきまして、小倉副会長にご説明をお願いします。

(小倉副会長)

お手元のマップをご覧ください。地図に3段階の汚れの指標が表示されています。青がきれいで、赤が汚れています。昨年に比べて赤が少し多くなっていますが、採水当時は雨の量が少なく、測定当日の朝、急な雨が降ったためではないかと思えます。この水質調査は、多摩川流域387地点で実施されました。きれいな所は全体の32%、汚れたところは20%になっています。来年も引き続き多摩川で同じ調査が行われることを期待しています。

(事務局)

有り難うございました。なお、今回の調査にあたっては、当フォーラム公式ホームページにGoogleマイマップを活用した「多摩川一斉水質調査地点マップ」を掲載し、パソコンはもちろん、スマホやタブレットからフォーラムが直接担当した採水75地点を閲覧できるようにしました。このシステムを導入するに当たり、渡邊環境清流部会長に全面的にご協力をいただきました。本当に有り難うございました。また、渡邊部会長をはじめ、山崎運営委員、奥山アドバイザーにも、採

水・測定等のご協力をいただきました。

水質調査レポートの次ページをご覧ください。今回の調査も、CODに加え、電気伝導率、水の濁りを調査する濁度・色度の測定を行いました。資料をとりまとめられた渡邊部会長に一言コメントをいただきたいと存じます。

(渡邊部会長)

Google マイマップは、実際に測定した場所がどういうところであることを確認できますし、採水する方もどこで採水すれば良いのか、写真で場所を確認することができます。次ページは電気伝導率のグラフです。上流から下流に行くに従い、徐々に電気伝導率が上がっていますが、47番で一気に数値が上がります。これは、水再生センターの処理水が多摩川に放流されるためです。71番になると海水が入るため、急激に数値が上がっています。次ページは、濁度・色度のグラフです。今年は天気が良かったため、濁りはほとんどありませんでした。色度については、下水処理水が入ると数値が上がります。CODの他にもデータを調べたという報告でした。

(事務局)

有り難うございました。この事業は、国土交通省や他の河川環境団体からも高く評価されています。ご関心のある方は、お帰りになられてからご自宅のパソコンで覗いていただければと思います。

(2) 平成28年度・第1回運営委員会開催 (11/2) 【資料2】

- ・ 【資料2】をご覧ください。11月2日に第1回運営委員会を開催し、平成29年度美しい多摩川フォーラム設立10周年記念事業について(案)が承認されましたので、ご報告させていただきます。後ほどの意見交換でご説明させていただきます。

(3) 大田区より第9回・寄付金の贈呈 (11/11) 【資料3】

- ・ 【資料3】の2枚目をご覧ください。今年は10月8日に地元大田区の中学生45名を含む大田区民有志が総勢70名で参加されたほか、フォーラム事務局も大田区丸子橋から一緒にスタートし、タスキをつなぎながらゴールの羽村市役所を目指して激走しました。前のページに戻ってください。なお、イベント当日に集まった桜の植樹募金183,910円については、11月11日に大田区長室において、大田区長より細野会長に贈呈されました。有り難うございました。

(4) 多摩川“水”大学講座開催(全6回・11/11最終回)

- ・ 5年目となる今年度は、府中市様との共催のもと、5月27日に開講しました。引き続き小倉副会長に講師をお願いし、水環境に関するリーダーの養成を目指しました。なお、第6回目となる来年度は、小金井市での開催を目指して検討を始めたところです。本件につきまして、小倉副会長に一言お願いします。

(小倉副会長)

5月27日から11月11日まで全6回の講座を終了いたしました。出席された方は熱心で、講義だけではなく、活発な意見交換もありました。13名の方に終了証をお渡しいたしました。来年は小金井市で実施する予定です。

(5) 第8回・美しい多摩川クリーンキャンペーン開催

(11/12、11/26、11/19は雨天中止)【資料4】

- ・ 【資料4】をご覧ください。今年の「美しい多摩川クリーンキャンペーン」のポスターになります。今回は、ポスター制作後、さらに3団体(富士通株式会社、株式会社ダスキン、明星大学)が正式に参加を決定し、最終的には、参加団体は37団体となりました。次ページをご覧ください。11月12日は、川崎市様のご協力により、新たな清掃会場として川崎市の多摩川河口でクリーンキャンペーンを実施しました。11月19日、多摩市での中流域のクリーンキャンペーンは、雨天のため、多摩市様と協議のうえ、安全を考慮し、残念ながら中止といたしました。11月26日は、青梅市、奥多摩町の協力により実施いたしました。川崎市の多摩川河口のクリーンキャンペーンに参加された山崎運営委員に一言お願いします。

(山崎運営委員長)

私の地元でもありますので、多摩川ゼロキロメートルの清掃活動に参加しました。写真に写っている通り、思ったよりゴミが少なかったです。ただ、今回は川崎市側だけの実施だったので、今度は大田区側など、下流も色々な場所で展開できたら良いと思います。

(事務局)

今お話がありましたように、今回のクリーンキャンペーンでは、下流域の清掃活動だけではなく、多摩川のゼロキロポストを見ることもでき、山崎さんから解説もいただきました。有り難うございました。【資料4】の5枚目をご覧ください。羽村市様、狛江市様から実施報告書をいただきましたので、当フォーラムホームページにも掲載しております。狛江市企画財政部政策室企画調整担当主事の西村

様に一言お願いします。

(狛江市 企画財政部 政策室 企画調整担当主事 西村 様)

狛江市では、今年から市内の美化啓発活動に取り組むため、市内の一斉清掃を実施しました。市民の有志の方に、居住地域と多摩川を掃除してもらう取り組みです。また、小田急財団様のご協力もいただきました。来年度以降も実施していきたいと考えております。

(7) 第9回・多摩川子ども環境シンポジウム開催 (12/10) 【資料6】

- ・ 【資料6】をご覧ください。今年は10グループが発表を行いました。司会も発表も子どもたちが行うこのシンポジウムでは、今年も多くの感動をいただきました。本件につきましては、山崎教育文化副部長に一言お願いします。

(山崎教育文化副部長)

冒頭で渡邊部長からも話がありましたが、子どもたちの発想や観点は楽しかったです。川原に落ちている石ひとつから昆虫など、色々なものを見つけて発表されました。来年の開催日も決まっておりますので、ぜひご来場ください。

(8) 多摩川流域11自治体交流イベントラリーに協力 (5/28~11/13) 【資料7】

- ・ 【資料7】をご覧ください。これがイベントラリーの用紙で、中面がスタンプ台紙になっております。およそ半年に及ぶ多摩川11自治体交流イベントラリーは、先月終了しました。本件につきましては、狛江市企画財政部政策室企画調整担当主事の西村様に一言お願いします。

(狛江市 企画財政部 政策室 企画調整担当主事 西村 様)

多摩川流域11自治体交流イベントラリーを半年間実施しました。このイベントは多摩川流域の11自治体を実施するイベントを、スタンプラリー形式で回ってもらう事業です。多摩川流域の賑わいや発展に少しでも寄与しているのではないかと考えます。今後も参加自治体を増やしていきたいと思っております。このイベントは、多摩川フォーラムさんにご協力いただいておりますので、来年度以降もご協力をお願いいたします。

(事務局)

有り難うございました。以上で、経過報告を終わります。渡邊部長、よろしく申し上げます。

(渡邊部会長)

経過報告について、ご質問・ご意見はありますか。

(山崎教育文化副部会長)

多摩川流域11自治体交流イベントラリーですが、多摩川フォーラムが協力しているにも関わらず、スタンプラリーで押せるイベントが入っていません。来年はぜひひとつ盛り込んではいかがでしょうか。

(事務局)

狛江市さんと調整させていただきます。

(渡邊部会長)

他にご質問などありますか。ないようですので、本日の意見交換に入りたいと思います。

4. 意見交換（部会長）

(1) 平成29年度事業計画骨子（事務方素案）の主な実施内容について【資料8】
（10周年記念事業案件の実施に向けて）

(渡邊部会長)

はじめに事務局の方から説明してください。

(事務局)

始めに【資料2】をご覧ください。11月2日に開催された運営委員会の議案として、ご承認いただいたところです。これまでに会員の皆さまから部会や運営委員会でさまざまなご意見をいただきました。

これを踏まえ、事務局では基本方針である「美しい多摩川100年プラン」に沿って、10年間の実践活動を総括し、今後10年間を展望して、10周年記念事業の検討を進めて参りました。予算制約のもと、既存事業の見直しも並行的に行い、「10周年記念事業として採択したい候補案件」として取り纏めました。

まず、経済軸では、「多摩川親水事業」です。想定しているのは、「多摩川カヌー一駅伝」ですが、案件の立て方など、微妙なところもありますので、今回は「多摩川親水事業」という表現で留めております。

次に、多摩川夢の桜街道～桜の札所・八十八カ所の選定先等見直しについては、経年劣化の桜があることもあり、この際、八十八カ所の一部入れ替え等の見直しを行うものです。

環境軸では、美しい多摩川フォーラムの森（青梅）において、“桜”の記念植樹

を行うイベントです。プラムポックスウィルスという梅の伝染病の影響で、同じ樹種である桜も連鎖的に植樹できない状態が続いておりましたが、桜については規制がゆるくなり、来年は記念植樹イベントを行う予定です。

教育・文化軸では、平野副会長とお弟子さんたちによる「多摩の物語」の語り会を開催します。

総合軸では、10周年記念シンポジウムを考えました。10年間の実践活動を総括し、今後10年間の展望した内容で検討しています。

次に10周年記念誌発行ですが、フォーラムの発足前後より10年間の足跡を冊子化すると共に、公式ホームページにも掲載したいと考えています。

次に100年プラン・パンフレットの改訂版発行についてですが、10周年記念を踏まえたものとし、さらに、前回発行時以降、フォーラムの事業活動が進化・発展しているため、実態に合わせてリニューアルしたいと考えています。

シンボルマークの制作ですが、10周年を機に新たに制作し、今後のフォーラム活動に多角的に活用できればと考えています。

ドローンを活用した多摩川の空撮ですが、桜が咲き誇る春に行い、その映像を様々な事業活動のPRに有効活用したいと考えています。

案件は以上のとおりですが、次ページの「美しい多摩川フォーラム設立10周年記念事業関連費用（事務方素案）」をご覧ください。10周年記念事業費の総額を試算してみました。網掛けの記念事業は平成29年度新たに資金負担が発生するもので、合計で558万円になります。なお、「多摩川夢の桜街道～桜の札所・八十八ヵ所」の選定先等見直しに伴うマップ改訂、公式ホームページ改訂費用については、平成30年度以降に予算化を検討しているものです。平成29年度段階では予算に計上されておられません。また、美しい多摩川フォーラムの森（青梅）の記念植樹イベントですが、東京都農林水産振興財団の年度計画の中で対応することが当初より想定されているものであり、新たに資金負担は発生しません。シンボルマークの制作ですが、フォーラム法人会員のアルピン株式会社様より、「無償で協力する」とのお申し出がありました。

一方、事業の見直しについてですが、多摩川カヤック体験教室、美しい多摩川フォト教室を中止とし、多摩川子ども環境シンポジウムにつきましては、いろいろ負担の大きい「みんなの発表誌」を平成28年度より中止し、シンポジウムの内容を見直していくことにより、全体として258万円の費用減少となります。この結果、不足事業費は300万円となります。

この300万円は、フォーラム事務局で現在検討しておりますが、このうち200万円につきましては、青梅信用金庫様から特別にご寄付をいただくことにつきまして、まだ決定ではありませんが、ほぼ内定しております。残りの100万円について、最終的に寄付金対応ということになれば、ぜひ法人会員、個人会

員の皆さまにも、無理のない範囲でご協力をお願いできればと考えております。
「その他、記念事業候補としていただいたご意見についての検討結果」を、ご参考までにまとめて付けております。

次に、【資料8】をご覧ください。「平成29年度事業計画骨子（事務方素案）の主な実施内容について」になります。アンダーラインは、10周年記念事業になります。事務局からの説明は以上です。

(渡邊部会長)

それでは、皆さん、ご質問やご意見がありましたら、お願いします。

(奥山アドバイザー)

いつも思うのですが、この会にはそれぞれの分野でご活躍されている方々が集まるので、名簿をいただければ有り難いと思います。

(事務局)

確かに、部会については名簿を作っておりません。当初、「部会は自由参加でフラットと来ているので、名簿に書き込まれると動きにくい」というご意見もあり、見送りました。どちらが良いのか、事務局で精査させていただきます。

(渡邊部会長)

有り難うございました。10周年記念事業について、ご質問やご意見がありましたらお願いします。

(堤地域経済活性化副部会長)

以前も発言しましたが、費用についてはクラウドファンディングを利用したらどうかと思います。イベントよりは物を作るところで上手く活用されたらどうでしょうか。

(事務局)

クラウドファンディングについては、事務局でもピンとくるものがあり、ドローンでの利用について検討中です。設定額は100万円程度を想定しています。実はすでに2日間にわたって専門家と一緒にドローンのロケハンに行ってきました。この映像が出来上がれば、皆さんにアピールできるものが出来上がるのではないかと考えています。

(渡邊部会長)

有り難うございました。私からも質問ですが、「(子ども環境) シンポジウムの内容も見直し」とありますが、見直しの内容はある程度決まっているのでしょうか。

(事務局)

見直しはこれからです。山崎教育文化副部会長にお知恵をお借りして、見直しを行うという意識合わせを行ったところです。

(渡邊部会長)

有り難うございました。その他、10周年記念事業について、ご質問やご意見がありましたらお願いします。

(奥山アドバイザー)

私が多摩川を愛するのは、釣りをするからです。釣り仲間で、現在、青梅信用金庫理事長の平岡さんに誘われて、多摩川フォーラムに入会しました。入会してから10年間、釣りに関するイベントやシンポジウムがありません。10周年を機に、色々な漁協さんの協力を得て、釣りに関するシンポジウムを行ったらどうでしょうか。釣り関係の団体がお金を出してくれるかもしれません。

(事務局)

この件については、今までも時々お話をいただくのですが、フォーラムのメンバーから「それ良いね！やろう！」という雰囲気がまだまだ出てきていません。お金がないからできないというよりは、事務局マンパワーの限界がネックになっています。しかしながら、我々も何もしなかったわけではなく、とうきゅう環境財団さんの助成金で「さかなが教えてくれること」という本を、奥山アドバイザーを中心に発刊いたしました。

(山崎教育文化副部会長)

奥山さん、水質調査と同じようにマップを作ったらどうですか。「この地点ではどういう魚が釣れる」というようなデータをマップに落としこんだらどうでしょうか。

(渡邊部会長)

有り難うございました。その他、ご質問やご意見がありましたらお願いします。

(富国生命保険相互会社 立川支社 市場開発課長 梶田 俊樹 様)

10周年で様々な事業を行うと思いますが、どのイベントを柱にする予定なの
でしょうか。

(事務局)

シンボル事業は、当初、カヌー駅伝でしたが、前回は東京都の予算で600万
円かかりました(モニターツアー400万円を含めると合計1000万円)。あま
りにも費用が巨額で、単独では実施できない案件のため、実施してくれるところ
を見つけ、そこに協力する形にしたいと思っております。そうなると、シンポジ
ウムが柱の事業になると思います。また、記念誌発行も大きな事業です。

(石黒 様)

奥山さんから話のあった魚の件ですが、手弁当による事務局として、奥山さん
にやっていただいたらどうでしょうか。10周年を記念して、拡張事務局のよう
なものがあっても良いかなと思います。次にクラウドファンディングですが、私
も五日市の「東京裏山ベース」に寄付をしたことがあります。募集額は100万
円で、西多摩新聞に掲載されたとたん、一気に募集額に達しました。ドローンは、
クラウドファンディングの切り口として面白いと思います。ただし、成果をファ
ンドしてくれた人に何を返すかを考えなければなりません。ぜひ頑張ってください。

(渡邊部会長)

有り難うございました。ここからは指名しますので、それぞれ短めのコメント
をお願いします。それでは日の出町の小森さんからどうぞ。

(日の出町 産業観光課 課長 小森 公夫 様)

寄付金は、行政からは難しいお話です。拡張事務局というお話もありましたが、
広がり過ぎてもバラバラになるのではないかと思います。

(青梅市 建設部 計画調整担当主査 輪千 徳也 様)

クラウドファンディングは良いアイデアだと思います。10周年記念事業とし
てあがっている企画は、どれをやるにしても、すべて良い事業だと思います。協
力できるところは協力していきたいと思います。

(秋川漁業協同組合 代表理事組合長 安永 勝昭 様)

我々漁協もお金がありません。どうやってお金を集めるか。人のお金を使えば

良いのです。我々は、秋川と多摩川の宣伝のために、日テレを使っています。1月に発行される雑誌には、私が書いた本が出ます。これもお金がかかっていません。お金をかけずに、相手が寄ってくる方法を検討したらどうでしょうか。

(福田 様)

「多摩川レガッタを多摩川カヌー駅伝にリプレース」することについて、具体的に説明をお願いします。

(大谷 様)

記念事業の中に「多摩川夢の桜街道～桜の札所・八十八ヵ所の選定先等見直し」とありますが、私の方で協力できるところはボランティアで協力しますので、今後ともよろしくをお願いします。

(野尻 様)

冒頭で回覧された「多摩川だより」の表紙の絵を描いているのが私です。最近では体調を崩して休んでおりました。

(澤田アドバイザー)

以前、フォーラムの企画で「奥多摩癒し弁当」を開発しましたが、来年JRで開催する「多摩川酒蔵街道号」のお座敷列車のランチ弁当として採用されました。前は小澤酒造さんの「ままごと屋」で食事をしていただいたのですが、今回は列車の中で食べられる弁当になりました。ゆくゆくは駅弁にしたいというところまで来ております。次に、「多摩川源流 水守絵図」という、折りたたみ式の資料ができました。こういった資料も上手く活用してください。

(アルピン株式会社 統括部長 吉澤 様)

弊社の代表が、多摩川フォーラム発足時からお世話になっていることもあり、シンボルマークの制作を提案させていただきました。今後そのマークを見ただけで、多摩川フォーラムをイメージしていただけるくらい親しみのあるデザインを考えたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

(渡邊部会長)

有り難うございました。時間がせまっているので次に進めます。その他、事務局からありますか。

(2) その他

(事務局)

特にありません。

5. 総括・閉会（部会長）

(渡邊部会長)

それでは最後に、小倉副会長から総括をお願いいたします。

(小倉副会長)

総括というより感想ですが、来年の10周年に向けて、色々なご意見をいただきました。これからそれぞれの部会で検討することになると思いますが、事務局に意見を寄せていただきたいと思います。さらに10年後を見据えて、今後も多摩川フォーラムが継続発展できるよう、やっていければ良いと思います。

(渡邊部会長)

それでは平成28年度第1回三部会合同部会を終了します。有り難うございました。

以 上